

「北軽井沢の初雪(3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



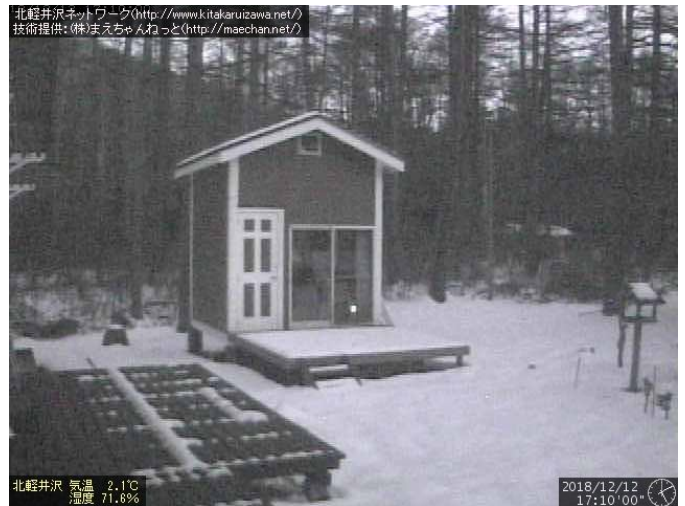
浅間山を観測しているカメラは、IP アドレスを持ったネットワークカメラなので、遠隔操作で向きを変えることが可能だ。私はスマホから操作して、カメラを山荘庭に向けてみた。やはり真っ白になっている。ガレージの屋根の下にはほとんど積もっていないので、風は弱かったようだ。



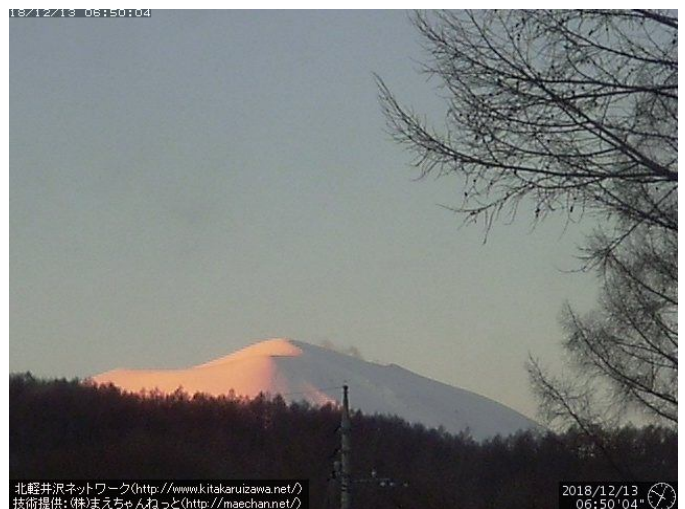
裏庭にも古いカメラがある。もともとフクロウの巣箱を観察するために設置したもので、現在はアーカイブ画像の保存はしていない。しかし東京からカメラにアクセスは可能なので、裏庭も観察してみた。一面真っ白だ。これは次回行った時に、止水栓を探し出すのが大変だ。写真ではよくわからないが、イノシシと思われる足跡がたくさん見られた。雪が積もると、動物が足跡を残すので、面白くなる。



しかし翌日(12月12日)は冬の高原としては気温が高かった。午前7時には、早くもテラスの雪はとけ始めているのがわかる。



夕方の17時には、テラスの雪はほとんど消えてしまった。黒っぽい塗装なので、一度とけ始めると速い。地面の雪は「アルベド効果」でなかなかとけない。



浅間山も真っ白になっていた。11月から12月にかけては、浅間の雪も積もったりとけたり繰り返しののだが、今度こそこのまま春まで白いままだろう。